

環境経営レポート

2023年度

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日

発行日：2024年7月1日



株式会社松原組運送

項 目	
環境経営方針	1
組織概要（事業者名、所在地、事業概要、事業規模等）	2
対象範囲（認証・登録範囲）	2
環境経営活動組織図及び役割・責任・権限	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	6
代表者による全体評価と見直し・指示	6

環境経営方針

●基本理念

株式会社松原組運送は、産業廃棄物処理業及び運送事業を通じ、限りある資源とかけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐため、一人一人が地球環境保全の意識を持って活動し、社会に貢献します。

●環境経営方針

当社が行う事業活動が、いかに地球環境に影響するか全員が認識すると同時に、社会的使命を請け負っていることを自覚します。

また、当社の事業活動により発生する環境への負荷を最小限にし、環境関連法規等を遵守し、以下に掲げる活動目標の継続的改善に取り組んでいきます。

1. 事業活動における環境影響を随時把握し、常にエコドライブを心がけ車両燃料の使用量の削減及び電気の使用量の削減により、二酸化炭素の発生の抑制に努めます。
2. 水の使用量削減に努めます。
3. 一般廃棄物の再利用の推進による排出量の削減に努めます。
4. 環境関連法規とともに交通関連法規等を遵守し、また交通安全に努めます。
5. 作業標準化を推進し、環境負荷の低減及び安全作業に努めます。
6. 環境経営方針は全従業員に周知します。

制定2006年07月18日

改定2020年04月01日

株式会社松原組運送
代表取締役 松原和俊

【組織の概要】

(1) 事業者名および代表者氏名

株式会社松原組運送
代表取締役 松原和俊

(2) 所在地

本社 〒651-0074 兵庫県神戸市中央区南本町通2丁目3番12号

(3) 環境管理責任者・担当者氏名連絡先

環境管理責任者 松原和秀
担当者 永井貴美子
連絡先 TEL：078-221-7745 FAX：078-221-7746
E-Mail matsubaragumi@cotton.ocn.ne.jp
ホームページ matsubaragumiunsou.co.jp

(4) 設立、資本金、売上高、処理実績

設立： 昭和44年3月27日
資本金： 1,000万円
売上高： 2023年度総売上高6億435万円
処理実績：一般貨物運送量1,042,112 t (スケール・廃酸スラッジ・新水処理スラッジ・スクラップ炭素・ブルーナイト・フリース他)
産業廃棄物収集運搬量52,424t(鉱滓・ばいじん・汚泥・建設廃材・ガラス屑) 合計運搬量1,094,536t

(5) 事業内容

一般貨物運送業、産業廃棄物収集運搬業

(6) 事業規模・施設等の状況 (2024年3月31日現在)

	本社、事務所		
従業員数	50名		
敷地面積	970.49㎡	延床面積	75.99㎡

(7) 事業年度 4月～翌年3月

(8) 認証・登録範囲：全組織・全活動が対象

(9) 施設の概要

<収集運搬業>

□保有運搬車両：(2024年3月31日現在) 46台

車両の種類	台数	車両の種類	台数
大型ダンプトラック 11t	15台	ホイールローダ 3.8㎡	5台
大型ダンプトラック (構内車) 11t	10台	ホイールローダ 2.5㎡	4台
大型ダンプトラック (構内車) 20t	2台	普通乗用車	5台
大型コンテナ車 10t	1台	構内連絡車	2台
キャブオーバー 2t	1台	合計	45台

<許可・登録内容>

□積み替え保管施設なし

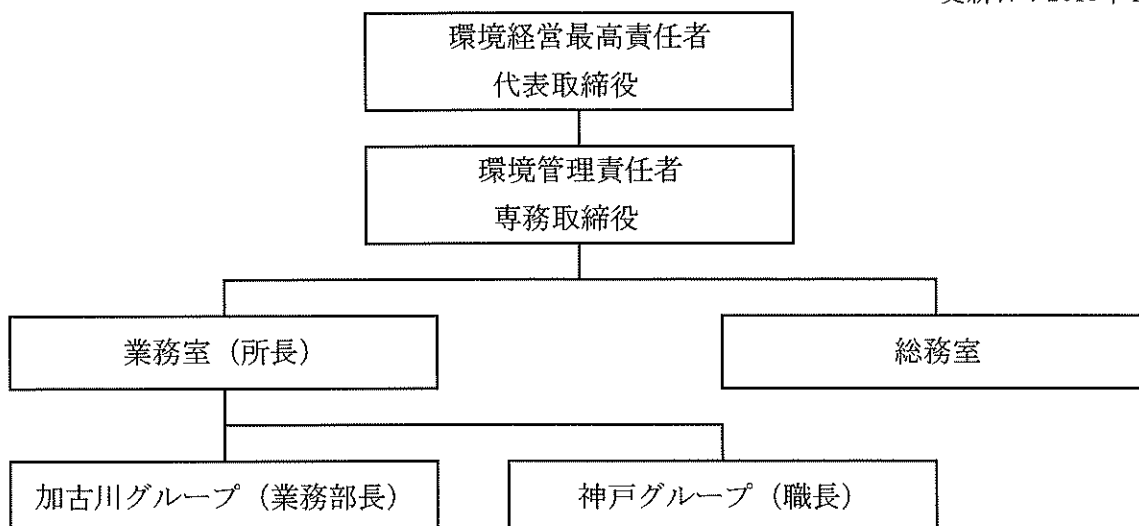
許可の種類	許可	許可番号	許可年月日 許可有効期限年月日	産業廃棄物の種類													
				燃え殻	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉱さい	がれき類	ばいじん	
一般区域貨物自動車運送事業	兵庫県	兵陸第4248号 進達大陸第4141号	昭和43年12月25日付														
産業廃棄物収集運搬業(優良)	兵庫県	第02801018143号	令和4年2月1日 令和11年1月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物収集運搬業	岡山県	第03300018143号	令和3年1月19日 令和8年1月18日		●												

※当社では、お客様からお預かりした運搬物をその種類の応じた自社車両にて安全に運搬いたします。

【環境経営活動組織図】

制定日：2011年4月1日

更新日：2019年4月1日



	役割・責任・権限
環境経営最高責任者 代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による課題とチャンスの作成、定期的に見直し ・環境経営方針の策定、見直し ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 専務取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示に必要な情報（環境経営目標の達成状況等）を報告 ・環境経営レポートの確認
総務室	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付と地域事務局への送付）
業務室 所 長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・各グループにおける環境経営システムの推進・実行を指導
神戸グループ 職 長	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸グループの実行責任者
加古川グループ 業務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川グループの実行責任者
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・自主的・積極的に環境活動への参加

【主な環境負荷の実績】

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
電力使用量にCO2排出量	kg-CO2	5,724	5,646	5,001	4,927
自動車燃料使用量CO2排出量（ガソリン）	kg-CO2	13,134	13,894	14,245	14,245
自動車燃料使用量CO2排出量（軽油）	kg-CO2	1,190,918	1,434,320	1,546,308	1,546,308
都市ガス使用量CO2排出量	kg-CO2	179	205	210	225
CO2排出量合計	kg-CO2	1,209,955	1,454,065	1,565,764	1,565,705
一般廃棄物排出量	kg	4,473	12,041	12,041	7,389
水使用量	m ³	127	137	143	140
受託した収集運搬量	t	379,502	341,140	662,109	1,094,536

※ 2020年度中央電力(株)二酸化炭素調整後排出係数：0.49kg-CO2/kWh(公表) 都市ガス2.16kg-CO2/m³

※ ガソリン：二酸化炭素調整後排出係数：2.32kg-CO2/L 軽油：二酸化炭素排出係数2.58kg-CO2/L

【環境経営目標・実績】

環境経営目標	単位	基準年度 2022年度 (基準値)	2023年度		2024年度	2025年度	2026年度
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
受託した産業廃棄物量	t	49,513	—	52,385	—	—	—
電力使用量	kWh	10,206	10,104	10,054	10,002	10,002	10,002
	基準年度比		99%	98%	98%	98%	98%
ガソリン使用量	L	6,140	—	6,150	—	—	—
ガソリン燃費の向上 (km/L)	km/L	15.92	16.08	15.33	16.08	16.08	16.08
	基準年度比		101%	96%	101%	101%	101%
軽油使用量	L	599,344	—	609,464	—	—	—
軽油燃費の向上 (km/L)	km/L	2.98	3.01	2.92	3.01	3.01	3.01
	基準年度比		101%	97%	101%	101%	101%
水使用量の削減	m ³	143	142	140	142	142	142
	基準年度比		99%	83%	99%	99%	99%
一般廃棄物	kg	12,041	11,921	7,389	11,921	11,921	11,921
	基準年度比		99%	102%	99%	99%	99%
無事故・無違反の推進	件	0	0	0	0	0	0
	基準年度比		100%	100%	100%	100%	100%

※ 自社排出の産業廃棄物はなし、化学物質は使用なし。

※ 軽油の使用量は運搬用ダンプと構内用のダンプ及び機械を含む。

【環境経営計画の取組内容とその評価、次年度の取組内容】

達成率：削減目標=（目標÷実績）×100% 向上目標=（実績÷目標）×100%

取組内容の達成状況：○できた（100%）△（50%～100%未満）×まったく出来なかった（0%）

取組内容	達成状況	継続/変更	評価と次年度の取組み内容
電力使用量の二酸化炭素排出量の削減	達成率	135%	（目標達成）
①作業所内の電気削減	○	継続	コロナ過の影響もあったのか①②③④を継続実施した結果、目標を達成できた。 （次年度） 次年度も①～④を継続実施し目標を達成する。
②不必要な照明の消灯及び空調機器の停止	○	継続	
③エアコンの温度設定、暖房21℃、冷房28℃	○	継続	
④温度計を設置し、こまめに温度を確認する	○	継続	
ガソリン燃費向上	達成率	91%	□ガソリン燃費の向上
軽油燃費の向上	達成率	93%	（目標少し未達成）
①移動時にはできるだけ乗り合わせ乗車	○	継続	（次年度）
②適切なタイヤ空気圧の保持	○	継続	次年度は目標を本年度より1%向上させる
③車両管理の徹底（始業前点検・定期点検実施）	○	継続	次年度も①～⑤を継続実施し目標を達成する。
④省エネ運転・アイドリングストップ	○	継続	□軽油燃費の向上
⑤車両の燃費の把握	○	継続	（目標少し未達成）
⑥車両の代替え購入	○	継続	（次年度）
⑦ハイブリット車への代替え購入	○	継続	次年度も①～⑥を継続実施し目標を達成する。
水使用量の削減	達成率	104%	（目標達成）
①散水時の節水	○	継続	コロナ過で衛生面において無理のない節水により目標達成。
②手洗い時の節水	○	継続	（次年度）
			無理のない範囲内で節水に努める。
一般廃棄物の削減	達成率	97%	（目標少し未達成）
①コピー用紙の両面利用	○	継続	昨年、社内整理したことで廃棄物の量が少し減った。。
②廃棄物分別の徹底	○	継続	（次年度）
③再利用の徹底（古紙業者回収）	○	継続	次年度も①～④を継続実施し目標を達成する。
④廃棄物量の計測実施	○	継続	
無事故・無違反の推進	達成率	100%	（目標達成）
①新規入講者の教育	○	継続	社員の健康管理の徹底により、早期発見、早期治療により貴重な能力を最大源に発揮し、より安全に走行することができ、安定した業務運営につながる。これからも継続して社員の健康管理を徹底していく。
②地域や沿線の環境に配慮した運転	○	継続	
③マナーの良い運転業務の施行 （交通法規の遵守、余裕のある運転）	○	継続	トラック協会と警察主催の無事故・無違反運動「チャレンジ100」に参加し無事故・無違反の表彰を受けました。今後もこのような運動に参加し、継続して無事故無違反に努めます。
④エコドライブ研修への参加	×	継続	
⑤交通安全教育への参加	○	継続	（次年度）
⑥社員の健康管理の徹底	○	継続	次年度も①～③を継続実施し、目標を達成する。 ④はコロナの影響で実施することが出来なかった。

【環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無】

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（届出の実施、測定の実施、基準値の遵守等）	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業（許可の有効期限）、マニフェストの管理、虚偽の禁止、帳簿記載（受入量、処分量）、収集運搬する車両の表示、書類携帯、名義貸しの禁止	遵守
家電リサイクル法	消費者の責務（使用済特定家庭用機器の引渡義務（テレビ、エアコン、冷蔵庫）	遵守
フロン排出抑制法	フロン類の第一種フロン類充填回収業者へ 簡易点検の実施	遵守
自動車リサイクル法	事業者の責務（使用済自動車の引渡義務）	遵守
道路運送車両法	保安基準、点検、整備、検査	遵守
自動車NOX・PM法	事業者の責務（規制対象区域の規制）（車検証）	遵守
貨物自動車運送事業法	運行管理者選任	遵守
労働安全衛生法	安全衛生管理体制、健康診断	遵守
消防法	消防設備の設置・点検	遵守
その他（顧客からの要求事項）	構内走行ルール	遵守

※ 環境関連法規制等の遵守状況の確認の結果、環境関連法規制等は遵守している。

なお、関係当局より違反、訴訟などの指摘は、過去3年間ありません。

外部からの環境に関する苦情、要望などありませんでした。

毎日朝礼を通じて双方向の内部コミュニケーションを実施している。

遵守確認年月日：2024年4月1日

環境管理責任者：松原和秀

【代表者による全体の評価と見直し・指示】

(1) 全体の評価

電力使用量の削減は、こまめに電源を切る活動、水使用量もコロナ対策の手洗い、うがいの徹底にも関わらず、節水意識の向上等により、目標を達成した。ガソリンの燃費向上は従来どおりエコ運転を実施し、連絡車の買い替えが出来たが、少し未達成となった。軽油の燃費向上は昨年同様近距離での運搬が増え燃費向上が難しくなり少し未達成となった。廃棄物排出量はゴミの分別、コピー用紙の裏面利用及びシュレッダーによる資源ごみとしておこない、不要品の量も昨年度処分したことにより今年度は少なくなり、昨年より大幅に達成に近い未達成となった。無事故・無違反の推進はトラック協会と警察主催の無事故・無違反運動「チャレンジ100」に参加し、無事故・無違反達成の表彰を受けました。今後もこのような運動に参加し、継続して無事故無違反に努めます。

(2) 見直し・指示

電力使用量は、今後も不要電力の消灯、空調温度の適正化を継続実施すること。自動車燃料使用量は生産性の向上（コストの削減）につながるので次年度も積極的に取り組むこと。水使用量は、コロナ対応で手洗いの水が増加するが無理のない範囲内で節水に努めること。社会貢献活動（事務所周辺の清掃活動）は今後も継続実施すること。

項目	変更の必要性	必要に応じて変更指示
環境経営方針	否	
環境経営目標	否	
環境経営計画	否	
実施体制	否	
その他の要素	否	

2024年4月1日

代表取締役 松原和俊